

小6 国語 出題のねらいと対策

1 漢字の読み書き 58.1%

ねらい：漢字の読み方と書き方についての知識を問う。

分析と対策：小学生の間で習う漢字は、中学生になるまでに、きちんと正しく読み書きができるようにさせて下さい。

2 ことばのきまり 75.6%

ねらい：助詞・助動詞の用法の識別について問う。

分析と対策：「と」「れる」「そうだ」「ながら」という、文を組み立てる上でよく用いられる重要語（助詞・助動詞）をあつかっています。品詞や用法の識別の練習は、ある程度量をこなす必要があります。

3 短歌の鑑賞 68.1%

ねらい：有名な短歌について、その意味やその短歌で使われている表現技法などを問う。

分析と対策：韻文としての短歌を味わうときに必要な、基本的な知識（表現技法ほか）や鑑賞力などを確認する出題が中心になっています。の短歌自体の特色、のたとえ（比喻）、の体言止めなど、短歌や修辞技巧に関する基礎知識を確認する問題で、まずはしっかり得点できるようにさせて下さい。また鑑賞についての設問も、では、短歌中に「降りつつすこしもつもらず」とあることから空欄には「雪」を入れること、またでは、「泳ぎしあとの遠浅（の海）に」とあることから夏の情景をうたっていることなどといったように、知識とともに読みにつ

いても、まずは正確さを身につけて下さい。正確な知識と読み取りを踏まえてはじめて、発展的な鑑賞や、応用問題への解答ができるようになります。

4 論説文の読み取り 49.7%

ねらい：文章の細部を読み取る力を確認しながら、文章全体で強調されている内容が何かを問う。

分析と対策：この文章では、イカやタコは色を識別する能力がないのに、捕食者から身を守るために、自らは体色を変える能力があることや、またイカの中でもホタルイカだけは、色を識別しているらしいということが述べられています。話題として扱っている事例が具体的であることで、日頃なじみのうすい内容が分かりやすく解説されている点に注目させて下さい。は空所補充の問題ですが、接続詞や助詞などの、文章の論理展開を把握するための鍵となる文法規則の設問については、丁寧に解説して下さい。は指示語「これ」が指している内容を答える問題です。文章を論理的に読み、指示内容が正しく把握できるようにさせて下さい。またこのやのような短文を記述させる設問については、まず答えるべき内容を決めさせ、答えの文を読み手に正しく伝わるようにきちんとまとめさせて下さい。また正解と合っているかどうかだけでなく、模範解答のような解答を書くためにおさえおくべき点や、書くべき内容で何が足りなかったのかを理解させて下さい。

全体の平均点は59.4点です。大問別テーマのうしろの数字は、全体の大問別正答率です。個人成績表を見ながら、不得意テーマに対する今後の学習の方針を見つけましょう。